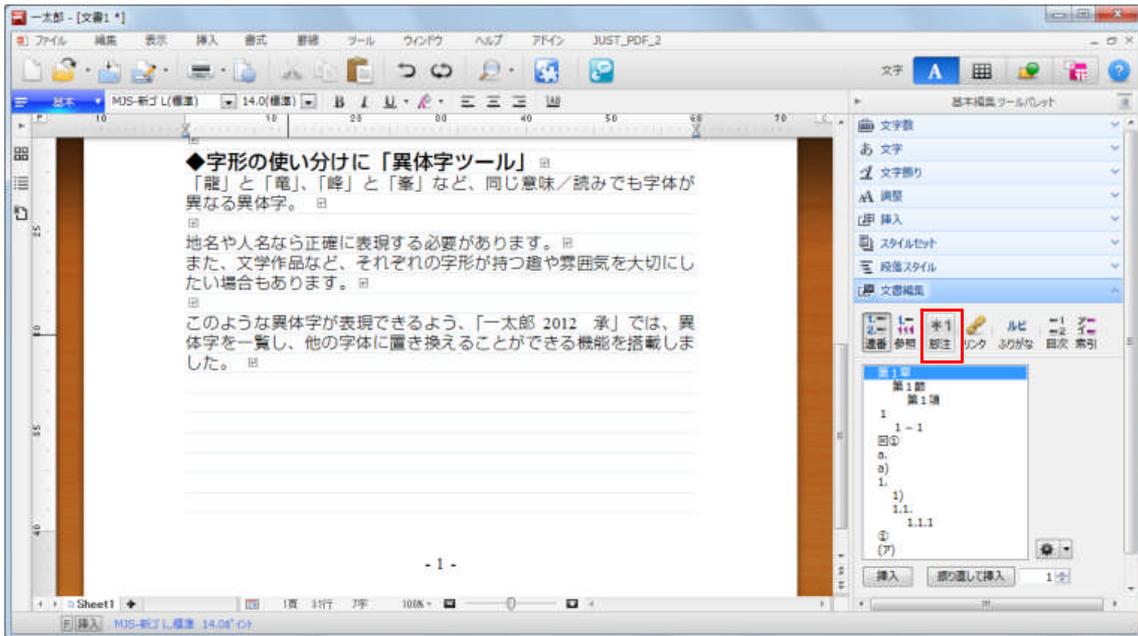


【一太郎2012 承編】

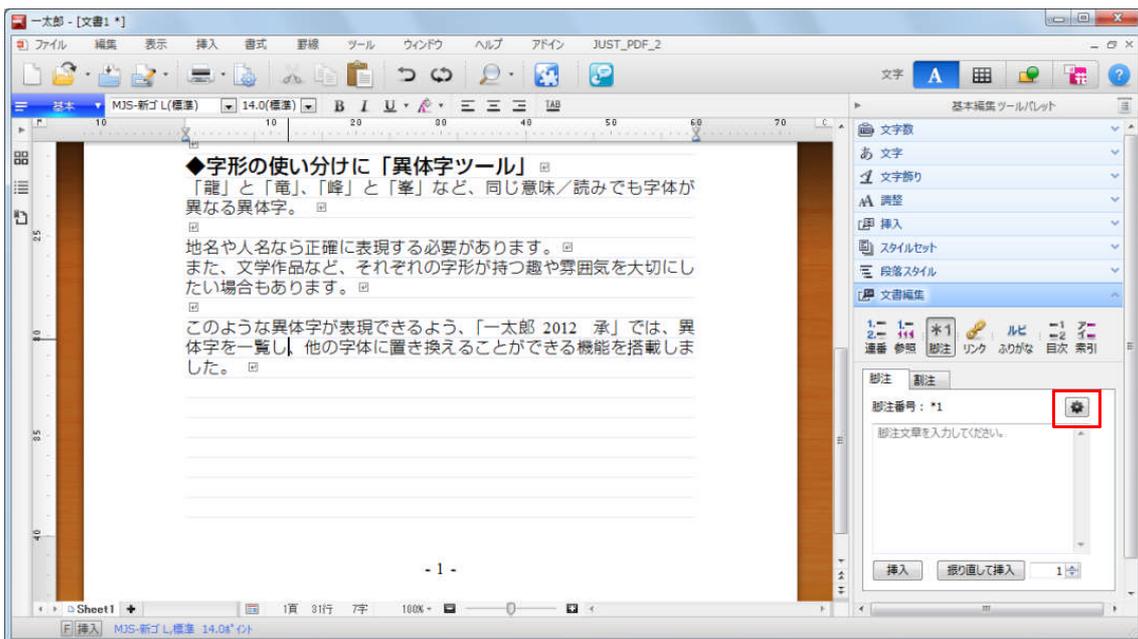
■文章に脚注を設定するマル秘テク

文章中の言葉に補足などの説明文を付けたい場合、該当個所に番号を振り、ページの終わりか文章の終わりにまとめて説明文を入れる方法があります。これが「脚注」です。一太郎2012 承では、ツールパレットを使って簡単に脚注を付けることができます。脚注番号は自動的に連番となります。

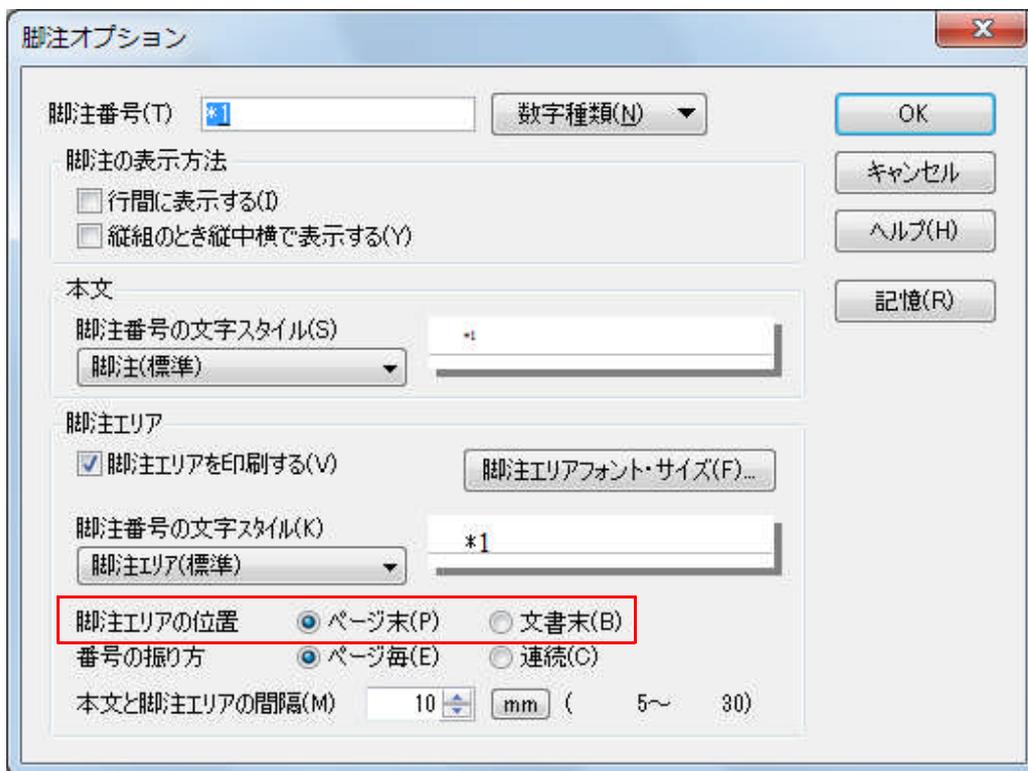
1. 脚注を挿入したい個所にカーソルを置き、[文書編集] パレットを開いたら、*1 [脚注] をクリックします。



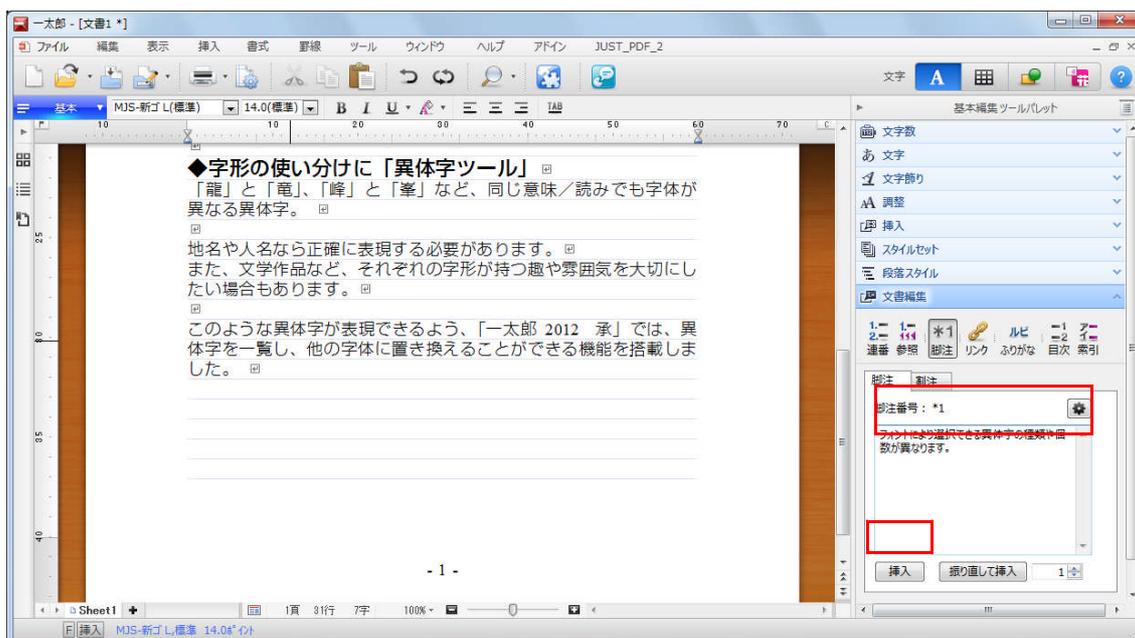
2.  [脚注オプション] をクリックします。



↓
3. [脚注エリアの位置] で脚注を各ページの終わりに入れるか、文書の終わりに入れるかを設定し、[OK] をクリックします。ここでは [ページ末] を選択しています。



↓
4. 「脚注文章を入力してください。」と表示されている欄に、文章を入力し、[挿入] をクリックします。



↓

5. カーソル位置には脚注番号が、ページ末に脚注文章が挿入されました。

地名や人名なら正確に表現する必要があります。☒

また、文学作品など、それぞれの字形が持つ趣や雰囲気大切にしたい場合もあります。☒

☒

このような異体字が表現できるよう、「一太郎 2012 承」では、異体字を一覧し¹、他の字体に置き換えることができる機能を搭載しました。☒

*1 フォントにより選択できる異体字の種類や個数が異なります。☒

- 1 -

